



絶えずお届けできるように

生活に欠かせない 水道水

東日本大震災を始め阪神・淡路大震災や中越沖地震、また今年4月の熊本地震などの大規模地震は、生活基盤である水道に大きな被害をもたらしました。これらを教訓に、上水道課では地震などの災害による被害を最小限に抑えられるよう、さまざまな取り組みを行っています。

災害時における応急給水、応急復旧の協力体制

日本水道協会中部地方支部
災害時相互応援に関する協定

愛知県・三重県・静岡県
岐阜県・福井県・石川県
富山県・長野県・新潟県

敦賀市



災害時相互応援協定

茨城県水戸市
岐阜県各務原市

災害時相互援助協定

京都府向日市

災害時における
協力に関する協定

敦賀市管工事
協同組合

災害時における物資の
貸渡しに関する協定

北陸建設機械
リース業協会福井支部

事故・災害時における 復旧体制

事故・災害はいつ起こるか分かりません。敦賀市では、大規模事故や自然災害などにより、敦賀市単独で十分な対応が行えない場合に備えて、多くの自治体や組合等との間

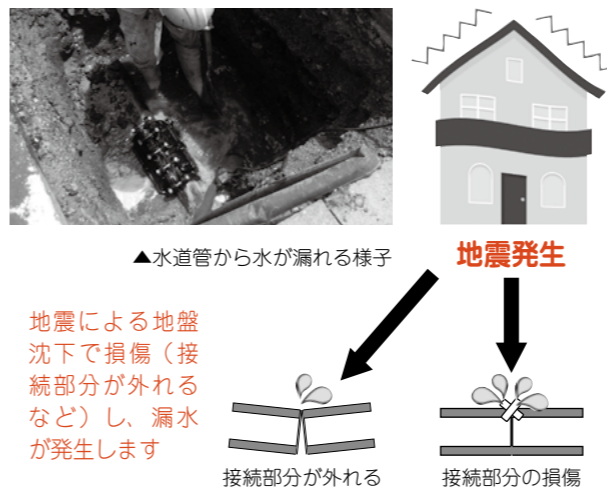
で、応急給水活動や復旧資機材の提供などの支援に関する協定を締結しています。また、定期的に訓練や情報交換を行うことで、いざというときに円滑な復旧・支援体制がとれるよう日頃から努めています。

自然災害に備えた安全・安心な水道のために

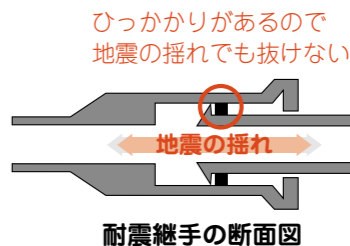
敦賀市内全域に張り巡らされた水道管の延長は、400キロメートル以上あり、皆さんの生活を支えています。上水道課では、老朽化した水道管を耐震管へ計画的に更新し、「災害に強い」水道施設を目指しています。

▼水道管が耐震化されていないと:

地震などにより地盤が沈下したり亀裂ができると、耐震化されていない水道管は接続部分が外れたり壊れたりして、漏水が発生し、水道水を供給できなくなる恐れがあります。



耐震化された水道管は「耐震管」と呼ばれ、太い水道管はダクタイル鉄製で、地震の際でも継手の接続部分が外れない構造となっています。また、細い水道管には柔軟性のあるポリエチレン製を使い、揺れや衝撃を吸収しやすくしています。敦賀市では、順次耐震管に更新を進めています。



敦賀市の 基幹管路の耐震化率

基幹管路延長	45,091m
基幹管路のうち耐震適合性のある管延長	26,943m
耐震化率	59.8%

(平成27年度末)

現在、敦賀市の基幹管路と呼ばれる重要な管路の耐震化率は、平成27年度末で約60%となっています。

敦賀市の水道における 災害への備え

資機材の整備



応急給水用の資機材を整備し、水道防災倉庫(昭和浄水場内)に備蓄しています。

給水袋の備蓄



災害時において、生活用水を運搬するために必要な給水袋の備蓄を計画的に進めています。

給水車の配備



災害時などに欠かせない給水車を配備し、早期に応急給水活動を行えるよう備えています。

防災訓練



市内各地域の防災訓練への参加および他の水道事業体との合同訓練を行っています。

災害に備えてご家庭でも飲料水の備蓄をお願いします

大規模な災害が発生した場合、救援物資や復旧の体制が整うまでに、災害発生から3日程度かかると言われています。日常生活を送るうえで必要な飲料水は、1人あたり1日3ℓ程度です。災害に備えて、各家庭で3日分(1人あたり9ℓ)以上を目安に、飲料水の備蓄をお願いします。

また、飲料用に水道水を備蓄する場合は、手・容器・フタをよく洗い、空気が入らないよう容器の口いっぱいまで水道水を注いでから密閉し、冷暗所で保管してください。なお、消毒効果を考慮して3日に1度は水を換えてください。



※飲料水以外にも手洗いやトイレなどにも生活用水が必要となります。浴槽に水をためておくことも有効です。

問合せ先 上水道課 ☎22-8144